

事務事業評価資料

施策名		国際化に対応した教育の推進			所管部局課名	教育委員会事務局 高校教育課				
事業名		外国人による英語指導の充実			担当者電話番号	特色教育係 078-362-9442				
事業目的		県立高校生徒の英語の理解力、表現力の向上 県立高校教員の英語力向上								
事業内容		アメリカ合衆国、オーストラリアなど英語圏諸国から外国語指導助手（ALT）を受入れ（100人）				事業開始年度	昭和62年度			
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額				
	事業費	(539,833 千円) 557,178 千円		(498,546 千円) 515,714 千円		(493,705 千円) 507,608 千円				
	人件費	2,541 千円	従事人員 0.3人	2,508 千円	従事人員 0.3人	2,461 千円	従事人員 0.3人			
	総コスト（+）	559,719 千円	従事人員 0.3人	518,222 千円	従事人員 0.3人	510,069 千円	従事人員 0.3人			
事業の目標		全県立高等学校における外国語指導助手の配置				[目標設定理由] 生徒の英語の理解力、表現力の向上のため、全県立高校で実施				
目標の達成度を示す指標		指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率（%）		
			目標値	年度				H20	H21	H22
		外国語指導助手指導校数	全県立高校に配置・訪問	毎年度	156校 (3,588 千円)	153校 (3,387 千円)	151校 (3,378 千円)	100%	100%	100%
評価結果	必要性	・経済・社会等のグローバル化が進展する中、生徒が21世紀を生き抜くためには、国際的な共通語となっている「英語」のコミュニケーション能力を身につけることが必要である。								
	有効性	・全県立高校で外国語指導助手が指導を行い、生徒及び教員の英語運用能力の向上を図っており、有効な事業である。 ・全県立高校でネイティブスピーカーから直接指導を受けることにより、高校生対象のスピーチやディベート等のコンテストへの参加者数も増加している。 ・レベルも年々向上するなど、生徒の英語理解力・表現力の向上や異文化理解への態度の育成につながっている。								
	効率性	・配置の重点化を図るなど工夫を行うことで、事業効果を維持しつつ、平成20年度に144人から100人への見直しを行った。 ・これまでの外国語指導助手の活用実績等を踏まえ、効率的な配置・訪問校の調整を進める。								
	民間・市町との役割分担	・県立高校における国際化教育であるため、県で実施する。								
	受益と負担の適正化	・授業の一環として実施するものであり、新たな負担を求めるものではない。								
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	統合	継続 凍結(休止)	実施手法の見直し 延長 終期設定				
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	P F I	負担割合変更	事務改善	その他		
説明	・より効果的な事業内容・執行方法について、引き続き検討のうえ実施									